

プレピティナヤングピアノストオーディション 地区予選会各地で開く

関西地区予選を終えて

当審査委員長 日下部 憲夫

9月27日、約40名の出演者による関西地区予選が行なわれその審査をつとめました。その時の状況を含み全体の印象を省りみると、東京を中心に行なわれた関西地区予選の審査をつとめた直後だけに、いろいろな意味での相違を感じました。

まず、双方にとっての良悪しの区別ではなく、根本的な異差というものを感じたことです。それは、関東と比較してレベルが低いとか遅れているという問題ではなく、地域的な異差としての異質なパターンが見られるということです。

環境を含む様々な条件の違いや、物に対処する方法や考え方の違いという生活そのものの相違点が表面化されたと見るべきでしょう。

例えば、環境の有り方をみても東京地区の場合は、指導者、生徒それぞれの立場で強烈過ぎる程の様々な刺激の渦の中で過ごしている為に、音楽にふれる心の余裕を越脱したムードが激戦という結果になり、それが功罪を生むのに対して、関西にあっては一般社会的環境からして、良悪にかかわらず中核、或いは目標の設定が把握されていない為に変な個人差が生じている様です。

したがって、今少し良い意味での刺激があったと思います。しかしこれが思わしくない形の場合は、一、二の有力者の支配下に事が進展し地域的な全体のムードを型どってしまうという、地方に生じ易いパターンがあるわけで、そうした事を思うと未知数を多くかかえた関西地区の発展に大きな希望をもって今後に期待出来るとも言えるでしょう。

その為にも、研究会等指導者が研鑽する場を多く設け、生徒が発展出来る機会を作って与える等の機関の充実が必要でしょう。

まず、期間をかけて生徒のグレードにおける極端な個人差をなくして行けるように努めれば全体のムードも良い方向へと一変するでしょう。来年、又その次と順次、PTNAコンクールを踏台にして前進すれば、今回のコンクールもそのきっかけを作った意味からも大変有意義な催しであったと思います。

各地区予選参加者

仙台地区

A級	石井 桂子(小1)	武田 あゆみ(小6)
	坪田 京子(小3)	寺嶋 百合(小6)
	宇都宮 佳織(小3)	C級
	佐々木 理佳(小3)	狩野 かすみ(中1)
B級		和場 真佐美(中1)
	渡辺 いづみ(小4)	D級
	小松 千鶴子(小5)	鈴木 久巳子(中3)
	高橋 真由美(小6)	E級
		木幡 倫子(小6)

大阪地区

A級	東 鈴恵(小5)	三好 梨恵子(高1)
	伊井 美鈴(小6)	山口 小枝里(中2)
	上田 容子(高3)	山口 博子(高2)
	大西 加代子()	山口 陽子(高2)
	大西 貞子(高2)	C級
	川上 純子(小4)	寺島 美佳(中1)
	小代 文子(小5)	青木 信子(中3)
	末吉 律子(小4)	小松 式子(中3)
	田口 恭子(中2)	笹谷 明子(高2)
	武田 佳子(小6)	堀本 宏美(高3)
	田中 優子(小5)	南出 尋子(中1)
	辻 真理子(中1)	D級
	中島 富美子(大4)	酒井 信子(中2)
	藤井 優(中2)	宮崎 知子(高3)
	和田 あけみ(高2)	E級
B級		大久保 和枝(高1)
	菊地 薫(小6)	F級
	北村 孝江(小6)	本田 巳幸(大1)
	水島 ひろみ(小6)	G級
		安田 訓子(大4)

岡山地区

A級	橋 恵美(小1)	C級
	山本 晃代(小3)	山口 詠子(小6)

四国地区

A級	杉野 裕子(小2)	福岡 稚妻(小2)
	石川 加代子(小1)	太田 博子(小1)
	応平 みどり(小3)	綾 麻子(小1)

B級

山本 恵美子 (小5)
 永谷 互美 (小6)
 西山 喜美子 (小4)
 大場 知子 (小4)
 真田 由美子 (小4)
 松岡 幹子 (小4)
 清水 知子 (小4)

C級

黒木 巳穂 (中1)
 関谷 久美子 (中1)

D級

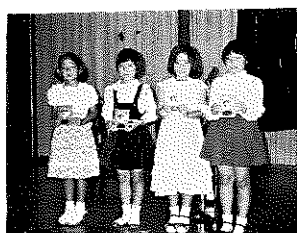
紙谷 由美子 (中2)
 阿部 真澄 (中3)
 河崎 みゆき (中2)
 藤井 早苗 (中2)

E級

梅野 淑子 (高2)
 阿部 理佳子 (高1)
 在問 千恵 (高2)
 植田 尚子 (高1)
 藤明 久子 (高2)

特級

川中 順子 (大1)



仙台A級



仙台B級



大阪



仙台C級

A級

長沢 朋子

E級

長沢 昌子 (中2)

沖繩地区

B級

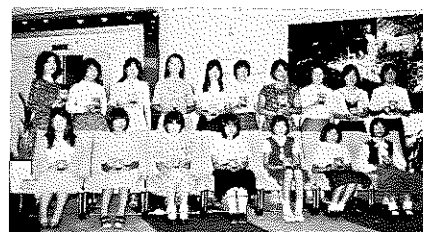
金城 玉緒 (小6)

E級

島尻 奈津子 (中3)

D級

梅田 美幸 (小6)



大阪D級



仙台D級



高松C級



高松B級



高松A級



岡山



高松E級



高松D級



沖繩



九州



九州